

坂道出典年表

最終更新日: 2017年6月19日

西暦	年号	坂名	所在地	出典	備考
723	養老7	兜安坂	大樋町	石川県神社誌	兜安ヶ丘・兜安神社(桜丘高校)
1187	文治3	瓶割坂	犀川大橋一野町	三州名蹟志	義経奥州下り伝説・伝承
1574	天正2	枯木橋坂	橋場町	三州寺号帳	元龜・天正の争乱で枯木林となる
1580	天正8	碓右衛門坂	金沢城	三州志来因概覽附録	城内にはほかに松坂、尾坂、雁木坂
1583~	藩政初	亀坂	笠舞一小立野	亀尾記・加能郷土辞彙	「赤坂あり」「是より辰巳等の往来なり」
1583~	藩政初	塩硝坂	土清水町	後藤家文書	土清水塩硝蔵一五箇山(塩硝の道)
1583~	藩政初	あめや坂	森山2丁目	飴買い幽霊伝説	光覚寺(山の上町)
1583~	藩政初	御用坂(仮)	本多の社	本多家上屋鋪御館惣絵図	上屋敷・中屋敷 2017年3月復元予定
1583~	藩政初	家臣坂(仮)	本多の社	本多家下屋敷絵図	家中町下屋敷 陣立て1,130人
1584	天正12	兼六坂	兼六町ほか	加藩国初遣文	修理谷→汁谷→尻谷→尻垂坂
1584	天正12	二十人坂	石引2丁目	金澤古蹟志	鉄砲足輕の組地二十人町発祥
1595	文禄4	善光寺坂	小立野3丁目	郷土史愛好家野上正治著作	善光寺坂地蔵尊
~1600~	慶長頃	一本松坂	卯辰山工芸工房裏	加能郷土辞彙	井上勘左衛門の灰塚 坂名は国本命名
1601	寛永6	大乗寺坂	本多町	寺社由緒書上	総(惣)構修築のため替地
1616	元和2	観音坂	東山1丁目	観音院由来書(加賀藩史料)	男坂 4代光高が造成
1616	元和2	香林坊坂	香林坊	金澤古蹟志	香林坊病死の記事
1619	元和5	白山坂	石引2丁目	波着寺寺記	現兼六園内から白山(しらやま)町へ
1620	元和6	漏尿坂	瓢箪町	亀尾記	四遺坂とも一堀川新地
1635	寛永12	天神坂	天神町1-2丁目	金澤古蹟志	椿原天満宮(旧田井天神社)
1637	寛永14	八坂	東兼六町、小将町	金澤惣町役付(市中旧記)	古くからの巷称 ※1
1639	元禄6	小尻谷坂	東兼六町、小将町	侍帳	尻谷・小尻谷の表記
1657	明暦3	梅ヶ枝坂	兼六元町	木倉屋由緒帳	5代目長右衛門 びんつけ油「梅がえ」
1662	寛文2	馬坂	東兼六町、扇町	改作所旧記	馬坂新町が地子町に
1665	寛文5	W坂	清川町ほか	泉野村文書	二十人石伐の組地 ※2
1669	寛文9	裏門坂	宝町ほか	金澤古蹟志など	宝円寺大改修で裏口に~永福寺 ※3
1670	寛文10	鶴間坂	旭町1-3丁目	正保郷帳	村御印 もと牛坂→牛坂村
1671	寛文11	塚坂	石引4丁目	町会所留記(加越能文庫)	「小立野塚坂こんや八郎兵衛」
1676	延宝4	松涛坂	兼六園	兼六園全史	5代綱紀 蓮池庭
1679	延宝7	長良坂	寺町1丁目	後藤家文書	長柄衆(長柄・ながらとも読む) 吹上
1682	天和2	御参詣坂	法島町、平和町	三壺記	利家墓所へ上る野田往還建設
1690	元禄3	広坂	本多町	變異記	作事坂・安房殿坂(本多安房守屋敷)
1693	元禄6	紺屋坂	兼六園	土帳	こうや坂
1693	元禄6	賢坂辻通	小将町、兼六元町	侍帳	剣崎辻、小姓衆町剣先辻とも
1733	享保18	蛤坂	野町1丁目ほか	亀尾記	火災後に道がつく一妙慶寺坂 ※4
1752	宝暦2	つばや坂	つば甚裏	亀尾記	鏗屋甚兵衛創業 坂名は国本命名
1797	寛政6	隨身坂	兼六園	兼六園歳時記(下郷稔)	金沢神社の隨身像
1807	文化4	榎子坂	旧味噌蔵町小前	北国奇談巡杖記	「なだらかなるあやしき径あり」
1818~	文政期	上坂	兼六園	竹沢御屋敷総絵図	役人往来
1865	慶応元	貝割坂	清川町	金澤・野町の四〇〇年	山錦楼 旧蛤坂新道
1867	慶応3	子来坂	子来町	卯辰山開拓録	14代慶寧 資材運搬路
1867	慶応3	焔厚坂	天神橋口	卯辰山開拓録	「藩主の厚き恵み」
1867	慶応3	千杵坂	卯辰天満宮	卯辰山開拓録	御冥加による「千本搦き」
1867	慶応3	開基坂	卯辰天満宮	卯辰山開拓録	二ノ坂 開拓手始めの場所
1867	慶応3	表坂	末広町	卯辰山開拓録	養生所跡-花菖蒲園
1867	慶応3	汐見坂	卯辰町	卯辰山開拓録	「一本松春日山へゆく道」
1867	慶応3	常盤坂	常盤町	金澤古蹟志	卯辰山開拓時に新たに町立て
1868~	明治初	長谷坂	兼六園	兼六園全史(1976刊行)など	2代金沢市長・長谷川準也
1868~	明治初	真弓坂	兼六園	兼六園全史	高台の物見所 崩して坂に
1868~	明治初	桂坂	兼六園	兼六園全史	桂の古木(開設以前より)
1868~	明治初	不老坂	兼六園	兼六園全史	不老樹フジ 常磐園
1871	明治4	不老坂	法島町、十一屋町	戸籍編成	法島湯にちなみ風呂坂とも
1892	明治25	桜坂	清川町	市史年表「金沢の百年」	拡張を機に命名 ※5
1896	明治29	爪先上り	下新町	照葉狂言(泉鏡花)	「わがゐたる町は一筋細長く」
1910	明治43	下坂	兼六園	兼六園案内図	百間堀通り開通
1915	大正4	獅子帰坂	東御影町	卯辰山と浅野川(平澤一)	三社の社-玉兎ヶ丘
1920	大正9	暗がり坂	主計町	樞樞に目鼻のつく話(泉鏡花)	「暗闇(くらがり)坂を下りると」
1932	昭和7	木曾坂	宝町一扇町	小立野婦人学級61年度文集	裏門坂のバイパス 失対事業
1945~	戦後	鶯坂	小立野3丁目	サカロジー-金沢の坂	笠舞の住宅地化に伴う
1991	平成3	かいもち坂	東荒屋町	伝承地名調査第一報	中村健二元金沢大技官
2003	平成15	御転坂	東御影町	四季こもごも(国本昭二)	旧御園(みめぐり)町
2010	平成22	あかり坂	主計町	主計町あかり坂(五木寛之)	国本命名「路地坂」(1997)
2013	平成25	美術の小径	本多の社	市指定史跡	県立美術館→中村記念美術館

※1 八坂はもと宝幢寺坂。延宝年中社寺来歴に「元和元(1615)家老奥村永福が3代利常の戦勝を祈願」とある
 ※2 W坂=石伐坂 別名・清立寺坂 明和年間(1764~)以降に移転。寺社由緒書上
 ・吹屋坂 同名の坂が明治30年代(1897~)野町-蛤坂上にあり、蛤坂新道でつながっていた
 吹屋は錆物屋。旧藩時「車馬通行禁制(中略)防備上二關スルナン」(温知叢誌)
 ※3 宝円寺は藩祖利家の創建。前田家菩提寺。永福寺は利家家臣奥村伊予守永富(もと末森城代)が建立
 ※4 蛤坂はもと妙慶寺坂。天明6(1786)の由緒書に「妙慶寺坂とも称した」とある。開基は2代利家長老、松平康定
 ※5 桜坂は「一名仙人坂ト云ウ」(温知叢誌)。明治31(1898)下石伐町(上流部に隣接して仙人町)→桜島十番丁に新道。上下で呼称異なる

《坂のピックアップは「サカロジー-金沢の坂」(国本昭二、2007)をベースにその後知り得たものを追加した。出典については「金澤古蹟志」(森田平次、1976)など地誌・史資料のほか、『日本歴史地名大系』(平凡社、1991)などを参考にした。敬称略)